

# 企業紹介

豊かな環境整備をめざして・・・



代表取締役 深見 政英  
〒940-2042 長岡市宮本町1丁目831  
TEL 0258-46-5915 FAX 0258-46-6102  
<http://www.seikohsha.com>

業 種：建設  
資 本 金：3,000万円  
事業内容：解体工事、土木工事、草刈り、伐採、産業廃棄物の収集・運搬、再資源化

解体および土木工事を主力とする(株)晴耕舎。鉄筋コンクリートビルや木造住宅等の解体を得意とし、解体処理で発生したコンクリートがれきなどは、自社プラントで再資源化する。このたびの東日本大震災では、発生直後に被災地に社員を派遣し、津波で被害を受けた住宅等の解体作業に尽力する。

## 「成功者」を志し、「晴耕舎」へ

同社の創業は昭和51年。深見社長が地元周辺の解体工事を主体として会社を設立した。社名の「晴耕舎（せいこうしゃ）」には、「社会に出て成功者になる」という志と、「心気晴朗」「大地を耕し文化を築く」などの想いが込められている。

現在では、中越地域を中心とした鉄筋コンクリートビルや鉄骨構造物、木造建物の解体工事の他、道路や河川工事、産業廃棄物の収集・運搬など、環境整備に伴う様々な事業を行っている。



▲設立当初の想いを語る深見社長

## 低騒音、低振動工法で周辺住民とのトラブル回避

同社の解体工事では、工事周辺に与える騒音や振動を極力抑えるため、低騒音、低振動の油圧式破碎機やクレーン車、高性能の遮音シート等を使用。周辺住民との騒音トラブルが発生しないよう細心の注意を払う。

また、同社は解体工事における豊富な知識と経験をもとに、建設業者向けに、解体工事に伴う法律的手続きや問題点の解決、住民への了解などのアドバイスも行っている。



▲低騒音、低振動で解体工事を行う

## 建設廃材は、自社プラント等でリサイクル

一方、産業廃棄物の処理にも力を入れており、解体工事によって生じた建設廃材は、同社で適正に処理し、100%近くリサイクルされる。具体的には、コンクリートがれきは、同社のプラント（柏崎市五十土）で破碎処理し、砂利や碎石の代替品として再資源化。また、木造建物から出た木くずは業者を通じて木質ペレットに加工し、火力発電等の燃料として再利用される。

同社の企業理念は「人間社会と地域自然との有機的な共存共栄」。設立当初から事業をとおして地域社会への貢献を目指してきた。このたびの東日本大震災においても、中越地震や中越沖地震の経験を活かし、発生直後から被災地に社員を派遣。津波で被害を受けた住宅等の解体作業を行い、復興に向けて力を尽くす。



▲柏崎市にある五十土プラント